

「第3回国連防災世界会議」への参加について

消防庁国民保護・防災部 地域防災室

消防庁主催総合フォーラム

消防庁は、第3回国連防災世界会議の関連事業の中核的イベントである日本政府、仙台開催実行委員会主催の「総合フォーラム」の一環として、平成27年3月14日（土）に東北大学百周年記念会館川内萩ホール（宮城県仙台市）において、「地震、津波、土砂災害時等における消防団、地域住民の役割」をテーマにしたフォーラムを開催しました。

本フォーラムには、国内外から900人以上の方が参加しました。

仙台市青葉消防団の岡村まき子氏による司会進行の下、開会に当たり、主催者である坂本森男消防庁長官から挨拶があり、続いて、高市早苗総務大臣によるビデオメッセージが上映されました。その後、東日本大震災や伊豆大島の土砂災害、長野県北部地震時において実際に活動した、5組6名の消防団員や地域住民などの方々から、各災害時の状況や活動事例等について発表があり、会場等との意見交換が行われました。最後に、これらの活動事例発表を踏まえて、神戸大学



活動事例の発表の様子

名誉教授の室崎益輝先生による総括がありました。

【活動事例発表者】

- ① 佐々木由貴氏（宮城県南三陸町役場職員）

「東日本大震災を経験して」

- ② 長澤初男氏（福島県南相馬市消防団長）

「東日本大震災 南相馬市の状況と消防団活動」

- ③ 菊池のどか氏（岩手県立大学総合政策学部1年）

「いのちてんでんこ～釜石東中学校の活動～」

- ④ 鎌倉宏氏

（長野県白馬村堀之内区自主防災組織会長）

太田史彦氏

（長野県白馬村三日市場区自主防災組織会長）

「長野県神城断層地震時における自主防災組織の活動」

- ⑤ 羽根高明氏（東京都大島町消防本部次長）

「台風26号土砂災害 大島町消防団の活動」

消防車両、消防科学技術展示

消防庁では、我が国の優れた消防科学技術や東日本大震災を踏まえた対策等を紹介するために、仙台市役所と夢メッセみやぎにおいて、消防機関の協力のもと



高市早苗総務大臣によるビデオメッセージ



仙台市消防局による消防演習(仙台市役所)



東京消防庁による消防演習(仙台市役所)

消防演習、消防車両、消防科学技術の展示を行いました。

仙台市役所では、3月14日(土)・15日(日)の2日間、仙台市消防局と東京消防庁による消防演習と消防車両の展示を行うとともに、消防研究センターによる水陸両用バギー、消防偵察ロボット、無人ヘリ、パネルの展示を行い、2日間で約3,000人の観客が来場しました。

仙台市消防局特別高度機動救助隊の演習では、隊員が市役所屋上から張られたロープを降下する姿に観客から歓声が上がるとともに、東京消防庁第三消防方面本部消防救助機動部隊の演習では、地震により化学工場で化学薬品が漏洩したという想定で、陽圧式化学防護服を着装した隊員が化学薬品で受傷した傷病者を救出する様子を、多くの観客が興味深く見学していました。

また、消防研究センターの展示では、水陸両用バギーに乗って記念撮影をする親子連れなど多くの観客で賑わいまし

た。

夢メッセみやぎでは、3月15日(日)から17日(火)まで「防災産業展in仙台」が開催され、このイベントの特別企画として、習志野市消防本部の「拠点機能形成車両」、新潟市消防局の「津波・大規模風水害対策車両」及び消防研究センターの水陸両用バギーの展示を行いました。これらの車両は、東日本大震災の教訓を踏まえ、消防組織法第50条の規定に基づく無償使用制度を活用し、消防庁が消防本部に配備している車両で、「拠点機能形成車両」は、被災地での長期間にわたる消防活動を支援するための大型エアータント、調理器具などを備えており、「津波・大規模風水害対策車両」は、津波等により浸水した地域での救助活動に活用する水陸両用バギー等を積載しています。

また、会場では、新潟市消防局と消防研究センターの水陸両用バギーによるデモンストレーション走行を行いました。



習志野市消防本部による「拠点機能形成車両」の展示(夢メッセみやぎ)



新潟市消防局による水陸両用バギーのデモンストレーション走行(夢メッセみやぎ)